

部内資料 共同組織とともに困難に寄り添い、

“いのち”と健康を守ろう！！

fukui min-iren “いのち”をまもろう
2011年2月23日 NO. 57 県連社保・組織委員会

2011 春のたたかい！

「抗議ハガキ」運動スタート



つるが診療所の抗議ハガキ投函ポスト

きらら 抗議ハガキ20枚を集約
つるが診療所、たけふ歯科がポストを設置
「春のたたかいの方針」を受け、各事業所で具体的などりくみが始まりました。

今回の運動では、新高齢者医療制度を国会に上程させないことをめざして、「抗議ハガキ」運動が提起されています。2月22日（火）の第1回集約日には、きららが20枚の抗議ハガキを集約しました。そして、つるが診療所とたけふ歯科では待合室にポストが設置され、患者さんへの呼びかけが始まりました。たけふ歯科では21日（月）、22日（火）と、共同組織による待合室行動がとりくまれ、ポストにはすでに10枚の抗議ハガキが投函されています。現在開会中の通常国会は、高齢者医療制度の改悪法案の他に、国保の広域化、そして、生活保護法の改悪案など、社会保障の改悪につながる法案が用意され、「社保国会」と言われているだけに、悪法を上程させないとりくみが特に重要です。すべての事業所で具体化をすすめ、共同組織にも大胆に呼びかけて抗議ハガキ運動を一気にすすめてみましょう。

クリニック

AOSSA前署名・宣伝行動



光陽生協クリニックが2月16日（水）、定例の街頭署名・宣伝行動をAOSSA前で実施しました。当日は依然として寒さが厳しく、歩行者も足早に通り過ぎようとしていますが、社保委員を中心に参加した職員が積極的に署名を呼びかけ、後期高齢者医療制度即時廃止と国保改善を元気にアピールしました。

署名集約数	
後期高齢者	34筆
国保	30筆

あじさい

「このままでは介護が悪くなる」

あじさいが学習会を開催



老人保健施設あじさいが、介護保険制度の改悪をやめさせる運動の前進をめざして、学習会を開催しました。

今回の学習会は、「介護保険制度改定の真実」をテーマに、①全日本民医連のパワーポイントでの学習②介護署名の説明③あじさいの介護困難事例の交流の3本立てで行いました。パワーポイントの講師はあじさい社保委員が担当しました。学習会は2回に分けて開催し、38人の職員が参加しました。

●●あじさい より●●

今回は社保委員が難しいパワーポイントを数回にわたって講師養成学習会を設定し講師を行いました。また介護署名内容も社保委員が学習して自分なりの言葉で訴えてより新鮮みがあり各職員に伝わったと思います。参加者からは、「このままでは介護保険制度が悪くなる・なんとかしないといけない・利用者のため、また自分の将来のためにも運動をがんばらないといけないと思った」など介護運動への理解の第一歩となった学習会となりました。今回は社保委員独自在講師となり、社保委員の成長と自信に繋がっています。

福井市が中学卒業まで医療費助成を拡大

10月から

福井市が今年の10月から子どもの医療費助成を、現行の「小学3年まで」から、「中学卒業まで」に拡大する見込みです。民医連は社保協とともに福井市に対して、助成制度の拡充を訴えてきました。福井市はこれまで越前町とならんで県内最低レベルの助成でしたが、これで他の自治体に近づきました。ただし、窓口無料化や所得制限、一部負担なしでの無料化などは実現していません。これからも福井市をはじめ自治体への要請を強めましょう。

第6回 社保・組織担当者会議

3月8日（水）18:30～20:30

みどり薬局会議室

全職場から参加しましょう

